



亀中だより

No.32 令和3年11月8日 文責:岡田



For The Students!

スポーツの秋、文化の秋、亀中祭!

コロナが学校から奪い去ったものはたくさんありますが、11月2日の亀中祭を見ていて、その最たるものは生徒の“歓声”だったと感じさせられました。仲間が走る姿に全力で応援したり、結果に一喜一憂したりする姿を見ることができ、この上ないうれしさといくらかの安堵を感じています。思わず発する叫びや熱のこもった応援はやはり学校には必要なものです。仲間と抱き合ったり、喜び合ったりする。教職員は生徒がそんな人になってほしいと願ってきたものです。しかしそれを「ソーシャルディスタンスだから」とか「3密だから」と止めなくてはいけないという悲しさを背負ってきました。

しかし今日、わずかながらでも、またいくらかの戸惑いや遠慮をしながらも、クラスの仲間と思いを共有する生徒の姿を見ることができました。こんな光景を当たり前のこととできる日々が返ってくることを願います。保護者のみなさまには、この生徒の姿をご覧いただくことができず、申し訳ありませんでした。十分ではありませんが、ここで紹介させていただきます。



さわやかな秋空のもと開催された「亀中祭」「わっしょい」というスローガンがよく似合うお祭り日和。学年別の開催ではありましたが、クラスが協力して取り組んだ体育の部での「全員リレー」、「君の縄（生徒会種目）」は見ごたえがありました。文化の部では、体育館での美術部の作品見学のほか、生徒会本部、パソコン部やヒューマンライツからの発表、そして「It's a show time!!」が繰り広げられました。残念ながらビデオでの鑑賞ではありましたが、吹奏楽部の有志による発表をはじめとして、それぞれのグループが趣向を凝らした演目を披露してくれました。

